



ADMISSIONS HANDBOOK

2021–22

(2020年10月 – 2021年9月まで有効)

WE ARE A
CIS
ACCREDITED
SCHOOL



A CIS-accredited IB World School

学校の方針

ミッション

ケイ・インターナショナルスクール東京は、文化的社会的に多様な背景をもった学習意欲のある子どもたちに、安全で人を支える環境の中で、質の高い教育を提供し、国際社会に貢献する学力的にも人格的にも優れた有能な若者を育成する。

ビジョン

ケイ・インターナショナルスクール東京は、すべての学習者が学問において優秀さを示し、他を思いやる気持ちを持ち、平和でより良い世界を作ることに関与することを求めます。

信条

ケイ・インターナショナル東京は以下を信条とする:

1. 各人は、学校コミュニティの一員として、学校のミッションとビジョンを尊重し、信条に従って献身的に関わることを求められる。
2. 安全で人を支える環境とは、尊敬と秩序、寛容と思いやりを生むものである。
3. 質の高い教育とは、学問的優秀さと国際理解、ならびに人格型成と生涯学習を促進するものである。
4. 教育は、生徒、保護者、学校の相互の協力によって成り立つものである。
5. 文化の多様性は、本校のコミュニティを豊かにすると同時に世界への理解を深める。
6. 国際的な視野を持つには、多様で豊かな文化が世界中のすべての地域に存在していることを認識し、各文化のさまざまな信条や伝統に対して寛容を示すことが不可欠である。
7. ホスト国である日本の言語、慣習、伝統、文化的信条は学習経験を豊かにする重要な資源である。
8. 生徒の将来への準備のために、学校全体に繋がっている包括的国際カリキュラムが不可欠であり、学校はこれを定期的に審査する。
9. グローバル市民にはテクノロジーの知識とスキルの習得が必要である。しかしながら、実社会では外からの援助なしに自立して敏速に決断し行動する能力が不可欠であり、テクノロジーに依存しないコアとなる知識やスキルを習得することも重要である。
10. 学習の重要な道具となる、言語力及び数学力の発達を特に重視する。
11. 期待値を高く設定することは、しっかりとした学力を身に付けることをサポートし、将来の学問的成功のチャンスを高める。
12. 第一言語以外の言語で学習する生徒は、第一言語で学習する生徒に比べ学習に多くの時間と努力を要する。
13. 母国語の発達と維持は、アイデンティティーや自尊心及び認識能力を育て、究極的には学問的成功を収めるために重要である。
14. いじめやハラスメントのない安全で協働的な学習環境を維持するには、必要な場合に適切な行動をとり、学校全体でサポートすることが求められる。
15. 適切な身だしなみと態度の規範の順守が尊敬に満ちた、責任ある、安全な学校環境を促進する。
16. より多くの生徒が本校での教育機会を得られるよう、金額的な配慮のある授業料の確立・維持及び経済的で効果的な財政管理の維持が求められる。

K. International School Tokyo

1-5-15 Shirakawa, Koto-ku, Tokyo, Japan 135-0021

Tel: 03-3642-9993 (English); 03-3642-9992 (Japanese) / Fax: 03-3642-9994

E-mail: info@kist.ed.jp / Web: <http://www.kist.ed.jp>

目次

はじめに	1
Section 1: KIST について	
1.01: KIST とは？	1
1.02: カリキュラム	1
1.03: 学習重視	2
1.04: 卒業生	2
Section 2: 出願と出願資格	
2.01: 出願	3
2.02: 学年度と授業時間	3
2.03: 出願年齢	3
2.04: 出願条件及び期待値	4
2.05: その他の必要条件	5
2.06: 在校生の兄弟姉妹の入学	5
2.07: 再入学申請	5
2.08: 短期入学	5
2.09: 進級及びプログラム進学	5
2.10: ウェイティングリスト	6
2.11: 日本国における義務教育について	6
Section 3: 出願方法	
3.01: 選考の手順	7
3.02: 主な入学時期とその出願期間	8
3.03: その他の入学時期とその出願時期	8
3.04: 空席状況	8
3.05: 出願資格	9
3.06: 願書提出及び受験料支払い	9
3.07: 入学選考	10
3.08: インタビュー及び入学試験	10
Section 4: 合否決定および入学時期延期	
4.01: 合否の通知	13
4.02: 合否区分	13
4.03: 合格条件	14
4.04: 合格受理	14
4.05: 入学時期の延期	14
4.06: 入学後の再審査	15
4.07: 言語再試験の申し込み	15
4.08: 入学試験再受験	15
Section 5: 仮入学(海外在住受験者のみ)	
5.01: 仮入学	16
5.02: 仮入学の出願資格	16
5.03: 仮入学の出願方法	16
5.04: 仮入学の選考と合否の通知	16
Section 6: 生徒サポート	
6.01: 英語サポート	18
6.02: スペシャルニーズのサポート	19
6.03: 慣らし期間(K1 の生徒のみ)	19
Section 7: 保護者	
7.01: 保護者のサポート	21
7.02: スクールサポートプログラム(SSP)	21
7.03: 保護者の関わる学校行事など	22
7.04: 保護者の行動規範	23
Section 8: 学費	
8.01: 2021-22 授業料	24
8.02: 就学支援制度	24
8.03: 支払オプション	25
8.04: その他の費用	26
8.05: 授業料に含まれているその他のサービス	28
8.06: 支払い遅滞の事務手数料	28
8.07: 授業料の割引	28
8.08: 返金規定	28

はじめに

ケイ・インターナショナルスクール東京への入学に興味をお持ちいただきありがとうございます。保護者の皆さんにとってお子さんの学校選びはとても大切なことです。どの学校もさまざまな特徴を持っていますので、良くお調べ頂き、ご家庭の価値観に合った、お子さんにとって最適な学校をお選びいただきたいと思います。

生徒に可能な限り最善の教育環境を提供するために、当校では入学に関してこのハンドブックに示すような基本方針と手順を定めています。願書をご提出になる前に保護者の皆様には当校について、またその目指すもの、および展望についてご理解頂くことが不可欠だと思っています。願書提出にあたり、このアドミッションハンドブックをお読み下さい。願書の提出は保護者の皆さまがハンドブックを読み、述べられている当スクールのポリシーと手続きに従うことに同意したことを示します。

Section 1: KIST について

1.01: KIST とは?

ケイ・インターナショナルスクール東京 (KIST) は、1997 年に創立された、特定の宗教を基盤としない、普通教育を提供する 3 歳児から高校までの私立男女共学のインターナショナルスクールです。KIST は世界的組織であるインターナショナルスクール評議会 (CIS) の認可校です。また、東京都より学校法人の認可も取得しています。加えて、0 歳児から 2 歳児を対象とした、企業主導型保育施設の K. International Preschool (KIPS) (現在は別敷地) を運営しています。

KIST は伝統的な価値観、トレーニングにより確立された指導方法、バランスの取れた健康的なライフスタイルを通して、将来、生徒が国際社会で貢献するために必要なスキルと知識、ボランティア精神を高いレベルで身に付けることを目的に、学問的向上を促進する骨組みの中で、安全で思いやりのある環境を作り上げることを目標とし努力しています。在籍中全ての生徒は制服等学校の規則を遵守し、他の生徒の学習の妨げにならず、学校の名に恥じない適切な行動を取らなくてはなりません。

KIST の生徒は、卒業後も「生涯学び続ける」ということに対して高い向上心と願望を持っています。生徒達は高い志と、熱心なボランティア精神とを持ち、助けを必要としている人を助けたいという気持ちを示し、行動を起こすことで世界を変えられると信じています。このため KIST では成功をおさめるために、生徒たちは常にベストをつくすことが求められ、保護者の皆さんにも生徒たちと学校に対し、十分なサポートを行っていただくようお願いしています。

現在、KIST には約 45 か国の国籍からなる 620 名ほどの生徒が在籍しています。その内、約 20% がアメリカ・オセアニア・英国・カナダ、10% がアフリカ・ヨーロッパ・中東・南アメリカ、20% がインド・パキスタン・バングラデシュ、25% が日本、25% がその他アジア諸国の出身者です。また、多くの生徒が多重国籍を有しています。

1.02: カリキュラム

KIST の教育プログラムは、以下の通り、国際的で難度の高い枠組みに準拠しています。

- K1~G5: 国際バカロレア (IB) のプライマリー・イヤー・プログラム (PYP)
- G6~G8: 国際バカロレア (IB) のミドル・イヤー・プログラム (MYP)
- G9~G10: International General Certificate of Secondary Education (IGCSE)
- G11~G12: 国際バカロレア (IB) のディプロマ・プログラム (DP)

2020 年の 7 月現在で、世界には 158 か国 5,284 の IB 校が存在します。KIST は東京、関東圏で最初に、そして日本では 2 番目に IB の 3 プログラム (PYP, MYP, DP) をすべて提供する IB 校としての認可を受けました。

KIST 最後の 2 年間で履修する DP は、16 歳~19 歳を対象にした大学の入学資格となるプログラムです。世界的に難度が高いプログラムであることで知られ、刻々と変化する国際社会で生徒が成功するために必要な分析力や批判的思考力、論理的思考力やコミュニケーション能力などのスキルと知識、ボランティア精神を養う機会を提供します。DP では 6 つの必修科目でディスカッション形式の授業が行われ、レポートの提出が頻繁に要求されます。また、科目以外にも研究調査を基にした Extended Essay (課題論文)、哲学的な思考を求める Theory of Knowledge (知識の理論)、社会性を養うための Creativity, Activity, Service (創造性・活動・奉仕) といった履修要件があり、非常に高い知的思考が求められます。この高度な教育内容のため、IB ディプロマで高い結果を修めた生徒は、世界中の大学への入学時に単位を与えられたり、給付型奨学金の対象になることも珍しくありません。

KIST では学校のミッションを達成すべく、エレメンタリースクールからセカンダリースクールを通して、質の高い教育とサポートを提供し、生徒が国際社会で成功するために必要な DP で求められるスキルや知識を高いレベルで習得することを目指します。高いレベルで求められるスキルや知識が身に付けば、必然的に DP で高い結果を得る事になるため、KIST で

は DP の結果は習得度を測るバロメーターであると考えています。

IB の 3 プログラムの詳細は IB 公式サイト <http://www.ibo.org> をご覧ください。

1.03: 学習重視

KIST では一年を通して生徒たちに多彩な課外活動や放課後のクラブ、創造的・芸術的な行事など、学習以外の機会も数多く提供していますが、学習に重点を置き、特に英語と数学の学力を重視しています。その理由は、KIST ではほぼすべての生徒が将来自身の目標や夢を実現し、社会に貢献するための通過点として大学やそれ以上の高等教育機関での学習や研究を続けることを望んでいるからです。DP での高得点の獲得は、生徒の経済状況や家庭環境にかかわらず、世界中の大学に進学できるチャンスともなります。出願される前に、ご家庭で KIST の教育方針や目標が、お子さんに求められるものにあっているかをしっかりとご検討ください。

KIST の教育方針の理由や、その利点については学校ウェブサイト <http://www.kist.ed.jp> の“Founder’s vision”(創立者の理念)をご覧ください。

1.04: 卒業生

KIST では 2006 年に 1 回目の卒業生を送り出し、10 回目の卒業生となる 2015 年から 6 年連続で日本の IB 校において DP 合格者平均点でトップの成績を納めています。2020 年は合格者平均点 40 点(45 点満点中)という非常に素晴らしい結果を出し、日本のみならず世界でも有数の IB 校としての地位を確かなものとしたことを大変誇りに思っています。

以下は KIST 生の幅広い進学先の一部です。

USA

ポストン大学(4年間学費全額免除) | カリフォルニア工科大学 |
 プリンストン大学(4年間学費全額免除) | スタンフォード大学(4年間学費全額免除) |
 カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA) | シカゴ大学 |
 ミシガン大学 | ミネソタ大学 | ペンシルバニア大学

カナダ

マギール大学 | ブリティッシュコロンビア大学(UBC) | トロント大学

UK

インペリアルカレッジロンドン | キングスカレッジロンドン | ロンドンスクールオブエコノミクス(LSE) |
 セントジョージズ・ロンドン大学(医学部) | ケンブリッジ大学 |
 ユニバーシティカレッジロンドン(UCL) | セントアンドリュース大学

日本

国際基督教大学(ICU) | 順天堂大学(医学部) | 慶応大学 |
 名古屋大学 | 岡山大学(医学部) | 上智大学 | 東京医科歯科大学(医学部) |
 東京大学 | 早稲田大学

韓国

KAIST | ソウル大学 | 延世大学(医学部)

その他

香港大学 | 香港科技大学 | ニューヨーク大学アブダビ校(4年間学費全額免除) |
 イェール NUS 大学(4年間学費全額免除) |

大学合格・入学実績の完全版はウェブサイト <https://www.kist.ed.jp> をご覧ください。

Section 2: 出願と出願資格

2.01: 出願

KIST は、私達のミッション、ビジョンと信条、学習プログラムに強く賛同し、「国際的な心を持った」ご家庭からの、学習意欲の高い、礼節を重んじる生徒を歓迎します。KIST では、人種、国籍、民族、宗教、性別、社会的背景にかかわらず、あらゆるお子さんの入学の出願を受け付けています。ただし専門家がおりませんので、特別な学習ニーズをお持ちのお子さんの願書は受け付けておりません。

真に国際的な学校を維持するために、当校ではあらゆる国籍を持つ生徒を受け入れています。多様性を推進するために、クラスでは生徒の国籍のバランスをとるよう努めています。また、各学年での生徒の英語能力のバランスを考慮し、国籍や言語(母語)グループの多様性を確保すると同時に、学校内での指導言語としての英語のポジションを崩さないようにしています。また、各クラスでの男女比率のバランスにもできるだけ考慮しています。その他、入学選考にあたって考慮する諸要件については願書提出の項目を参照下さい。

2.02: 学年度と授業時間

KIST の学年度は、8 月中旬に始まり 6 月中旬に終わります。学習プログラムや成績表は 2 学期制(セメスター)をとっています。

- セメスター1: 8 月から 1 月
- セメスター2: 1 月から 6 月

通常の学年度の授業時間は以下のとおりです。しかし、現在の COVID-19 の状況下では異なる時間帯で授業を提供しています。

曜日/学年	K1-Grade 5	Grade 6-12
月曜日	8:45-2:35	8:45-2:45
火曜日、水曜日、木曜日、金曜日	8:45-3:25	8:45-3:40 ¹

¹ G6~G12 では生徒によっては、始業前 8 時 10 分から、もしくは放課後 4 時 30 分まで授業がある場合があります。

2.03: 出願年齢

KIST の新学年度は、8 月中旬からとなります。7 月 31 日を各学年の年齢区切りとしております。次表でお子さんの適格学年をご確認下さい。

学校区分	学年	年齢	誕生日
エレメンタリースクール	K1 ¹	3	2017 年 8 月 1 日 - 2018 年 7 月 31 日
	K2	4	2016 年 8 月 1 日 - 2017 年 7 月 31 日
	K3	5	2015 年 8 月 1 日 - 2016 年 7 月 31 日
	Grade 1	6	2014 年 8 月 1 日 - 2015 年 7 月 31 日
	Grade 2	7	2013 年 8 月 1 日 - 2014 年 7 月 31 日
	Grade 3	8	2012 年 8 月 1 日 - 2013 年 7 月 31 日
	Grade 4	9	2011 年 8 月 1 日 - 2012 年 7 月 31 日
	Grade 5	10	2010 年 8 月 1 日 - 2011 年 7 月 31 日
セカンダリースクール	Grade 6	11	2009 年 8 月 1 日 - 2010 年 7 月 31 日
	Grade 7	12	2008 年 8 月 1 日 - 2009 年 7 月 31 日
	Grade 8	13	2007 年 8 月 1 日 - 2008 年 7 月 31 日
	Grade 9	14	2006 年 8 月 1 日 - 2007 年 7 月 31 日
	Grade 10	15	2005 年 8 月 1 日 - 2006 年 7 月 31 日
	Grade 11 ²	16	2004 年 8 月 1 日 - 2005 年 7 月 31 日
	Grade 12 ³	17	2003 年 8 月 1 日 - 2004 年 7 月 31 日

¹ K1 の入学希望者は 7 月 31 日までに満 3 歳になっている必要があります。

² 11 年生への編入は 9 月 30 日まで受け付けます。

³ 12 年生への編入は IB 校からの編入で、履修している IB ディプロマの科目が KIST の科目と一致する場合にのみ受け付けます。

K1 についてはいかなる理由があっても年齢に達していない生徒の入学は認めていません。K2 と K3 については、特別な理由がある場合は、誕生日が規定期間を多少前後する場合でも例外的にその学年への出願を認めることはありますが、生徒の観察、前の学校での学習経験内容や先生の推薦状などを考慮し学年を決定します。通常の入学手続きの他に観察や試験が課せられることがあります。

なお、K1 から K3 に入学希望の生徒は入学日までにトイレットレーニングを完了していなければなりません。

G1 から G10 までについては、前の学校での成績、学校に通った年数、学力レベルによって最高 1 年まで生徒の適格年齢の上あるいは下のグレードへの願書提出を考慮することがあります。そのような場合はその理由を願書に書き、証拠となる文書を添付して下さい。

G11 及び G12 では、適格年齢を最大で 2 歳上回る年齢または 1 歳下回る年齢の生徒の出願を検討対象といたします。

適格年齢でない入学希望者については保護者の方との話し合いを通して慎重に検討させていただきますが、学校がお子様の学習の向上に有害であると判断したり、教員や同じクラスの他の生徒にとって適切でないと判断した場合は要望にお応えできないことがあります。

受験者が当校の年度終了間近(例:4月~6月)から入学を希望する場合、当校が定める年齢資格学年度を飛ばした上の学年に願書を提出できません。例えば3月に他の学校でG3を終了する生徒が4月からKISTに入学を希望する場合G4ではなくG3に願書を提出することになります。G3を終了してから初めて翌学年度である8月からG4に進級します。出願にあたりこのことを念頭において下さい。

2.04: 出願条件及び期待値

良好な学習環境を提供するために KIST では厳しい選考を行っています。入学にあたっては様々な期待値、条件が設けられています。

学力期待値

KIST では学習に重きを置いているため、幼稚園/保育園の児童を除き、入学を希望する生徒は、学習意欲が高く、学習教科、特に英語と算数・数学における高い学力があることを出願書類において証明しなければなりません。

また、G11~G12 で履修するディプロマプログラム(DP)には大学レベルの高度な学習内容が含まれるため、G11 へ進学する生徒には高い学力が求められます。DP で高い成功を修めている本校の G11 への出願を検討されているご家族には、生徒が G11 からの DP 履修し成功するために必要な事前知識やスキルをしっかりと身につけられる時間を提供するためにも、G10 やそれ以前の早い段階・学年での出願を強くお勧めいたします。

行動・態度に関する期待値

KIST では様々な社会的文化的背景を持った生徒たちが、偏見のない、安全な環境で共に学び、また個々の生徒の行動が他の生徒の学習にマイナスの影響を与えることのないよう配慮しています。生徒に求める行動は以下、行動規範に基づいています。

- a) **Respect**(尊敬・尊重): 生徒は他者への尊敬と、自身とは異なるものを許容・受容する判断を行うことで他者への配慮を示します。
- b) **Responsibility**(責任): 生徒は責任ある判断を行うことによって、自身、他者、コミュニティ、そして環境への義務を果たします。
- c) **Safety**(安全): 生徒は安全に配慮した判断を行うことによって、自身と周囲の人の身体的、精神的な安全の確保に貢献します。

出願されるお子さんは、優秀な行動・態度、学習への適切な態度、しっかりした管理能力、授業での集中力、他者と適切に関わる能力などを示していただくことを期待します。更にセカンダリーの高学年に出願される場合、なぜ KIST で学びたいのか、そして KIST での学習が将来の希望にどのようなかわりを持つのかについてしっかりと考えたことではっきりと説明できることを求めます。

要求される言語力及び学力期待値

KIST は様々な国や文化的背景を持つ生徒で構成されており、生徒はまた様々な違った言語を話します。生徒が一つの言語を媒体として一緒に学ぶため、当校は指導言語を英語としています。学年度初めである 8 月に K1 への入学を希望される出願者を除き、入学するにあたり生徒は英語において学齢相当のコミュニケーション及び学習スキルを有していなければ

なりません。セカンダリースクールに出願する生徒は英語で専門科目を学ぶため高いレベルの英語力が求められます。特にコース学習上の特質から、G8 及びそれ以上の学年では言語サポートの必要な生徒の入学はお断りします。

2.05: その他の必要条件

居住地について

KIST には寄宿設備はありません。住まいは各ご家庭でご手配下さい。ホストファミリーのご紹介も出来ません。KIST では、たとえ短期間であっても生徒の一人暮らしを認めていません。お子さんが両親と離れ、保護者代理あるいはホストファミリーと日本で暮らす場合、保護者代理あるいはホストファミリーもスクールでのインタビューを受けなければなりません。これはお子さんの日本での生活準備状況や、KIST の提供するプログラムの学習についてお子さんが十分にサポートを受けられるかを確認するためです。

ビザについて

関係政府当局にビザを申請するのは個々のご家族の責任です。しかし、ご依頼により KIST では入学が確定した生徒のビザ申請に必要な**在学(入学)証明書**の発行が可能です(有料)。しかしながらそれ以上のお手伝いはできません。ビザの発行まで学校を長期間欠席すると学習に支障をきたしますので、必ず余裕を持った手続きをしてください。

また、両親と離れて暮らす生徒はビザのコピーを提出しなければなりません。入学試験に合格しても、適切なビザが取れていない場合は条件付きの合格となります。ビザのコピーをオフィスに提出して初めて正式な合格となります。一定期間内にビザが取得できない場合は合格取り消しとなることがあります。

2.06: 在校生の兄弟姉妹の入学

既に KIST に在籍する兄弟姉妹がいることで自動的に KIST への入学が保証されるということはありません。在校生の兄弟姉妹であっても、通常の受験者と同様の選考が行われます。しかし、すでに在校生がいる保護者の方は、保護者インタビューが学校から求められた場合を除き、免除される場合があります。保護者の方のサポート並びに学校行事への参加の度合い、学費の支払い状況などが入学審査に当たり考慮され、可否結果に影響を及ぼすことがあります。

2.07: 再入学申請

過去に KIST に在学していた元生徒が再入学を希望する場合も選考手順は通常通りとなります。受験料や提出必要書類(KIST から以前に出された成績表は除く)についても同様です。元生徒は一般受験生と同じテストを受けなければなりません。保護者の方へのインタビューも行われます。

なお、退校後 3 年以内に再入学が認められた場合は、入学金と施設拡張費の減額規定が適用されます。

2.08: 短期入学

KIST でのカリキュラムは長期の学習を想定しているため、短期入学はお勧めしませんが、申し込みについてはその必要性和空席状況に基づき考慮されます。一般授業料は月ベース比例配分となりますが、その他の費用の減額はありません。ただし、4 月から 6 月の入学の場合に限っては施設維持費が減額されます。学校の制服(夏用と冬用: 季節による)と PE の上下ユニフォームはご購入頂きます。出願をされる前に必要な費用についてご承知おきください。

2.09: 進級及びプログラム進学

KIST に入学後、卒業まで自動的に在籍を継続できるという保証はありません。KIST では生徒が次学年へ進級、または次プログラムへ進学(K3 から G1、G5 から G6、G8 から G9、G10 から G11)する際の基準を設けており、進学にあたっては、この基準を適切に満たしているか審査が行われます。審査では以下を含む点が審査されます。

- 社会的、情緒的発達
- 学業に対するモチベーションと学習態度
- 保護者のサポートと関与
- 出席状況
- 学業成績

KIST では学習期待値に到達していない生徒を対象に、始業前および放課後の補習、夏休み中のサマーアカデミックプログラムなど、複数のサポートを提供しています。進学に際し十分なレベルに到達していないと判断された場合、これらサポートクラス、サマーアカデミックプログラムへの参加、個人チューターを付けること、コース変更、留年、そして最悪の場合、退学を求められる場合があります。進学に際し保護者がお子さんの必須のサポートクラスへの出席を支持し、従ってくださっているかも検討材料となります。

飛び級については、保護者がその正当性を証明することができ、該当生徒が学力、社会的発達、その他すべての期待値を満たしている特別な場合を除き、通常は許可されません。

2.10: ウェイティングリスト

KIST では、入学試験とインタビューで合格した場合でも入学希望のクラスに空きがない場合、ウェイティングリストに名前が載ります。ウェイティングは G10 までが対象となります。リストに載った後、クラスに席を得る際の優先順位は出願順ではありません。各学年のバランスを保つために、国籍、性別、英語レベルなど様々な基準が用いられます。

ウェイティングリストは出願された学年度末まで有効です。次学年度の入学を希望される場合はウェイティング期間中に通常の出願プロセスに従い再度願書をご提出いただく必要があります。次学年度選考の結果お子さんが試験に合格されなかった場合、ウェイティングリストも取り消しとなります。もし、次学年度選考で合格となられた方が、現在有効なウェイティング期間中に空席が出て入学が可能となった場合、2 度目の受験料は返金されます。

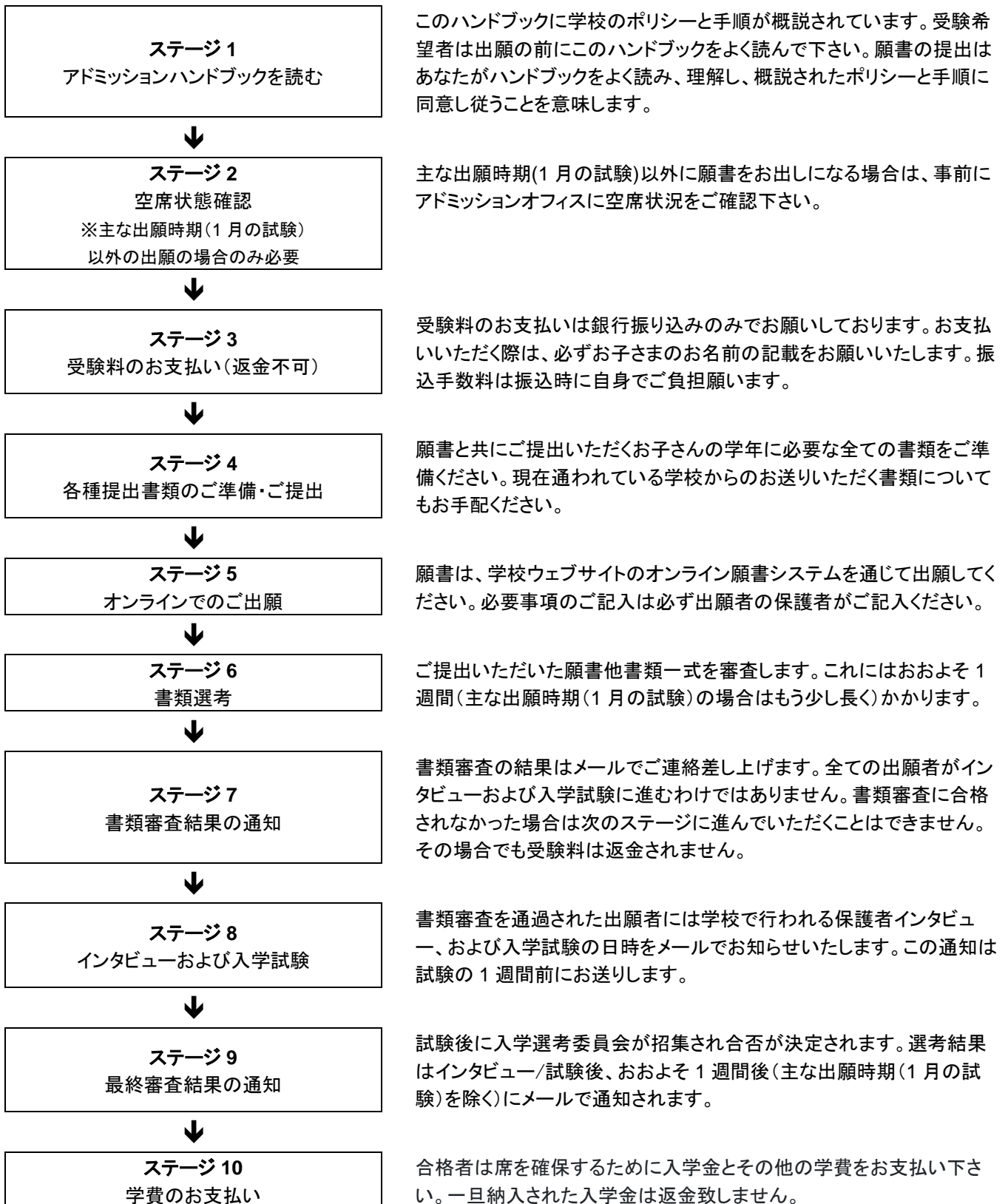
2.11: 日本国における義務教育について

日本国籍を持つ保護者は、その子ども(国籍に拘わらず)が義務教育期間に該当する場合、学校教育法の定めにより就学させる義務を負っています。その義務教育期間を KIST のようなインターナショナルスクールに就学させても、法律で規定された就学義務を履行したことはありません。KIST への入学を検討される際、本件について市区町村の該当部門に問い合わせを行うなどの行為は各ご家庭の責任で行ってください。

Section 3: 出願方法

3.01: 選考の手順

以下に示すとおり、選考手順の一部として出願は様々な段階を経て進みます。



願書は入学希望日の学年度の最終日まで有効です。学年度の最終日までにステージ8まで進めなかった場合(空席がないため選考試験を行えない場合)、願書は自動的に無効となります。

3.02: 主な入学時期とその出願期間

主な入学時期は、新学年度がスタートする8月からです。また1月あるいは4月からも空席があれば可能です。次の表は主な入学選考時期についてのスケジュールです。2021-22 学年度の10月～6月の間への入学希望の場合、そのお申込みは2021年10月の学校説明会後まで受付できません。

2021年1月(2020-21 学年度)からの入学希望者	
入学願書受付期間	2020年10月26日(月) – 11月20日(金)* *願書とその他必要提出書類はこの日の日本時間午後5時までに弊社に届いている必要があります
入学選考試験及びインタビュー	2020年12月3日(木)
選考結果通知日(メールにて)	2020年12月10日(木)
学費納入締切日	2020年12月17日(木)

2021年4月(2020-21 学年度)からの入学希望者、または2021年8月(2021-22 学年度)からの入学希望者	
入学願書受付期間	2020年10月26日(月) – 2021年1月11日(月)* *願書とその他必要提出書類はこの日の日本時間午後5時までに弊社に届いている必要があります
入学選考試験及びインタビュー	Grade 1-12: 2021年1月25日(月)、26日(火)、28日(木) K1、K2、K3: 2021年1月29日(金)
選考結果通知日(メールにて)	2021年2月15日(月)
学費納入締切日	2021年2月22日(月)(8月入学のK3を除く) 2021年3月5日(金)(8月入学のK3のみ)
追加募集	2021年2月16日(火)より空席がある場合受け付けます。

上記の二つの異なる入学時期を同時に受験することはできません。つまり、12月の試験(1月入学)と1月の試験(4月または8月入学)の両方を受けることはできません。さらに1月入学に出願され「不合格」、または「ウェイトイング」となった場合、その後6ヶ月間は次学年度(8月入学)のための試験を受けることはできません。ただし、願書受付期間前からお子さんがウェイトイングとなっていた場合のみ、ご希望であれば次学年度である8月入学のための試験を受けることができます。現在有効なウェイトイング期間中に空席が出て途中入学する場合、2度目の受験料は返金いたします。

3.03: その他の入学時期とその出願期間

主な入学時期以外でも空席がある場合は年間を通して願書の受付をしております。その場合願書提出から最終決定までおおよそ3週間かかります。書類選考を通った方のみインタビューと入学試験に進んでいただけます。インタビューと入学試験は通常毎週木曜日の午前中に実施されます(祭日ならびに学校の行事がある場合を除きます)。書類選考を通った受験者には最短の試験日をご案内しますが、願書提出のタイミングと受験者の数により受験日までの期間は異なります。試験とインタビューの詳細はメールで試験の1週間前位に送られます。

3.04: 空席状況

主な入学時期以外に出願される場合は、願書を提出する前に空席状況をご確認下さい。学校へお問い合わせの際、以下の情報をお知らせください。

- お子さんの生年月日
- ご両親の国籍(出生時の)
- お子さんの現在の学年(就学されている場合のみ)
- 入学を希望される学年
- お子さんの英語レベル

当校のポリシーである、生徒の男女比率、国籍、英語力のバランスを維持するために、クラスには空席があってもすぐにお子さんの席をご用意できないことがあります。このような場合、書類選考、インタビュー、そして入学試験に合格しても、お子さんが空席待ち(ウェイトイング)のリストに載り席が空くのを待つことになるのをご承知の上で願書をご提出になるかをお決め下さい。

空席状況は在校生家族の移動などにもより、常時変わります。空席状況を確認後、願書の提出が遅れると願書が弊社に届いた時点で状況が変わっている場合があります。さらに事前お問い合わせの際に空席があったとしても、実際の出願者数が空席数を超えた場合は、出願者全員が合格できるとは限りませんのでご注意ください。

3.05: 出願資格

オンライン願書他、提出が必要なすべての書類、証明書、受験料は入学希望者の責任でご用意下さい。

出願関連書類

全ての出願者に、以下を学校ウェブサイト上のオンラインシステムから提出していただきます。

- 生年月日を証明できるもの(パスポートの生年月日のページまたは出生証明書のコピー)
- 直近に撮影された出願者(お子さん)のパスポートサイズの顔写真
- 家族写真
出願者のご家族が映っている写真:写真館などで取られた正式な家族写真、スナップ写真どちらでも受け付けます。
- 受験料 20,000 円(返金不可)の振り込みを証明するもの

その他学年によって必要な証明書類:

- 成績証明書
 - G3 以上の入学希望者: 過去 3 年分の学校の正式な成績表を提出してください。学校印または、その他、学校の正式なものであることを証明する印の押された正式なコピーでなければなりません。入学希望者の学校から直接 KIST のアドミッションオフィスに郵送、または PDF で送信してもらうか、学校印の入った封筒に厳封されたものを出願者が郵送でご提出下さい。先生からのコメントのある詳細な成績表が望まれます。成績表は英語のものをご提出ください。英語以外の場合、翻訳を提供してください。翻訳はご家庭でご手配ください。
 - G2 以下の入学希望者: 入手できる全ての成績表のコピーまたはスキャンコピー。学校から発行される正式なコピーでなくても構いません。
入学希望者から直接 KIST のアドミッションオフィスに郵送または PDF でメール送信してください。
- 学校調査票(G2 以上)
KIST ウェブサイトから入手可能。入学希望者の現在通っている学校に前もって記入を依頼して下さい。これは機密文書ですので現在通っている学校から直接 KIST のアドミッションオフィスに郵送または PDF でメール送信してください。
- パーソナルステートメント(G8 以上)
KIST ウェブサイトから入手可能。入学希望者自身が英語で自筆で記入し、オンラインでご提出下さい。
- 仮入学関連の書類(仮入学での出願を検討する場合のみ – Section 5 を参照)

追加書類(直接 KIST のアドミッションオフィスにお送りください):

- 共通試験の結果のコピー(受けている場合)
- ビザの証明書(両親と日本で同居していない日本国籍以外の生徒のみ)

願書提出の一般条件

- 提出物は結果の如何を問わずお返し致しませんので、オリジナルのご提出はお控えください。
- 全ての提出文書は英語のみの受付となります。入力間違い、あるいは不明瞭な連絡先による間違いは申請者の責任となります。願書は入学希望者の保護者が必ずご記入ください。
- KIST を受験される際には、学校からの連絡をご確認いただけるよう、ご家庭にインターネットとメールが受信できる環境が整っていることが必要条件です。
- お子さんが前に受けた教育について全ての情報をご用意ください。同時に、何か特別な学習に関する問題がありましたら、その詳細もお知らせ下さい。願書提出時に判っていたことを明らかにしなかった場合、合格の見直し、あるいは取り消しもあります。

3.06: 願書提出および受験料のお支払い

願書及び必要書類は学校ウェブサイト(<http://www.kist.ed.jp>)からアクセスする、オンラインシステムからのみご提出いただけます。追加書類に関しては、入学希望者の現在、あるいは過去の在籍校から直接以下宛てにメールあるいは郵送にてお送り下さい。

- E-mail: info@kist.ed.jp
- Post: K. International School Tokyo
Admissions Office
1-5-15 Shirakawa
Koto-ku, Tokyo

返金不可の受験料は銀行振込にて以下の口座のみにお支払い下さい。必ず入学希望者(お子さん)のお名前を明記してください。振込手数料は振込時に自身でご負担願います。

海外から銀行送金される場合は円建てで手数料引き去り後正額 2 万円をお振込下さい。送金銀行、受取銀行双方の取り扱い手数料が支払の時点で完済されていることが受験者の責任です。間違っても不足が生じないように、送金時に銀行にご確認下さい。受領金額が 2 万円に満たなかった場合は、面接時に差額を現金でお支払いいただきます。

受験料お振込口座:

銀行名: みずほ銀行(銀行コード 0001)
 支店名: 本所支店(支店コード 050)
 住所: 〒130-0026 東京都墨田区両国 4-31-11
 電話番号: 03-3631-2121 / +81-3-3631-2121
 口座の種類: 普通預金
 口座番号: 1937746
 SWIFT コード: MHCBJPJT
 口座名義: 学校法人ケイ・インターナショナルスクール
 略称: ガク)ケイ・インターナショナルスクール
 英語名: K. International School Tokyo

3.07: 入学選考

もっとも重要なことは、学校が提供する教育環境が入学を希望される保護者とお子さんの期待とニーズに合っていることです。毎年たくさんの方に入学を希望して頂いておりますが、受け入れ可能人数が限られるため、全てのお子さんに入学頂くことは出来ません。当校に適合する生徒を選び、私たちが提供するプログラムで最も利益を受ける生徒を認定するために、願書提出者は全員が選考を受けます。

選考プロセスの段階を通して、以下の評価基準が注意深く検討されます。

組織に関すること:

- 空席の有無
- 年齢の資格
- 国籍、男女比率と英語力のバランス
- 各クラスの受け入れ状況

生徒のバックグラウンド:

- 指導言語が英語で行われるインターナショナルスクールで学ぶ必要性
- 英語で学んだ経歴(G1 以上の受験者)
- 当校の学習プログラムにふさわしい英語能力
- 当校の学習プログラムにふさわしい算数/数学能力(G2 以上)
- 身体的発達と十分な社会性(特に低学年)
- これまで通っていた学校での成績、実績

保護者:

- 国際教育の目的についての理解
- 教育に対する考え方と子供の未来についてのビジョン
- 当校のミッション、ビジョンと信条に心から信頼、賛同していること
- 家庭で子供の成長発達をサポートできること
- 学校の催しや行事をサポートする意志

受験料及びオンラインでの願書や必要書類を全てご提出いただくまで、入学選考は開始されません。 選考は通常 1 週間程度ですが、主な出願時期(1 月の試験)への出願、もしくは仮入学申請(Section 5 参照)に関してはもう少し長い期間を要します。

選考結果はメールでのみお知らせいたします。全ての願書提出者が書類選考を通るわけではありません。 書類選考に通らなかった受験者は次のインタビューと入学試験の段階に進めません。また選考に通らなかった場合でも受験料はお返しいたしません。受験結果については、個々のご質問には一切お答え出来ませんのでご了承下さい。願書の提出はこのポリシーをご理解、同意頂いたことを意味します。

3.08: インタビューおよび入学試験

書類選考を通った方は全員インタビューおよび入学試験を受けて頂きます。通常、インタビュー及び試験は同じ日に実施されます。

1. 保護者インタビュー

保護者へのインタビューは、保護者の方の教育的信念や希望が、本校のミッション、ビジョン、信条、プログラムと合致しているかを確認するためのものです。インタビューは通常他の保護者の方たちとグループによる討論形式となります。

参加人数により 30 分から 1 時間程度となります。インタビューは、英語、または日本語で行われます。ご両親ともに日本人の場合、日本語でのインタビューをご選択ください。英語でも日本語でも意思の疎通ができない保護者の方は通訳をお連れ下さい。可能な限りご両親での参加をお願いしておりますが、ご都合がつかない場合、どちらか一名でのご参加で結構です。すでに受験者の兄弟姉妹が当校在校生である保護者の方は、学校から別途要請のない場合、インタビューが免除されることがあります。

インタビューでの回答と願書に記載されている情報をもとに、以下に概説された基準に照らし合わせて審査が行われます。

- 国際的教育に関する国際的な考え方の程度
- KIST のミッション、ビジョンと信条への共感、理解、興味の種類
- 子どもの将来のための教育的見解とビジョンの明快さ
- 家庭で子どもをサポートする能力(精神面、学習面)
- 学校の催しへの参加や、学校のポリシーに従うなど、学校をサポートする意志

2. 語学力試験(英語)

語学力試験は、受験する学年のカリキュラムを学習するのに必要な英語力の有無をチェックします。試験内容は以下のとおり該当学年により異なり、所要時間も学年により 1 時間から数時間となります。

● K1 と K2

試験は教室内での行動観察の形で行われます。お子さんは、お絵描きをする、物の名前を言う、塗り絵をする、数を数えるなど、いろいろなアクティビティに参加します。試験官は様々な活動に参加する中でのお子さんの英語力、または英語(又はその他の言語)への反応、および他の子どもたちとの関わり方を観察します。

● K3 およびそれ以上の学年

K3 以上の出願者に関しては、多くのインターナショナルスクールで行われているリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの 4 技能を評価する一般的な共通試験を使用しています。しかし、学年に合わせ、文字、単語、センテンス、パラグラフ、またはもっと長い文章の音読、絵を見てそのことについてお話を作って話す、質問に答える、単語、センテンス、またはもっと長い文章(例えば話の続きを書く、答えを書く、録音されたものを聞いてそれについての質問に答えるなど)、録音された、あるいは試験官の質問に対し、Yes/No や、複数回答で答えるなどの問題を課されることもあります。子どもの現在の英語力を把握するため、試験とそのレベルについてこれ以上の詳細はお知らせできないことをご了承下さい。

試験中、試験官は受験者の集中度や一般的な態度、行動なども観察します。

試験の結果、お子さんの英語レベルが受験した学年の学習をするのに十分でない場合、その生徒は言語サポートが必要という判断となります。言語サポートを受けても生徒が受験した学年で学習するには英語力が十分でない判断された場合は通常不合格となります。

3. 数学試験

G2 以上は英語テストの他、1 時間程の算数/数学の試験を行います。試験は以下表にあります通り、英国の Key Stage あるいは IGCSE の過去問題に類似したものです。

出願時学年	使用試験
2	Key Stage 1 Level 2
3	Key Stage 1 Level 3
4 または 5	Key Stage 2 Level 3~5
6	Key Stage 3 Level 4~6
7	Key Stage 3 Level 5~7
8	Key Stage 3 Level 6~8
9~11	Edexcel IGCSE Mathematics B

試験問題に類似した Key Stage 試験の過去問題はこちらのサイト <http://satspapers.org/> よりご確認ください。また、IGCSE の数学 B の過去問題は下記のサイトよりご確認ください。

<https://qualifications.pearson.com/en/qualifications/edexcel-international-gcses-and-edexcel-certificates/international-gcse-mathematics-b-2016.html>

4. 受験者本人へのインタビュー

G4 以上、また 4 月以降から G3 に入学を希望される受験者には、お子さんの受験する学年に該当部門の校長が面接

を行います。時間は 15 分から 20 分程度です。

5. **教室での観察**

全ての K3 および G1 の受験者には試験に加え、通常の教室で他の子どもとの交流状況の行動観察も行なわれます。

Section 4: 合否決定および入学時期延期

4.01: 合否の通知

合否決定は、保護者のインタビュー、受験者の試験結果(G4 以上は面接も含む)、そして様々な基準を十分に考慮し決められます。すべての決定は最終的なもので、交渉や要求に応えることはできません。合格者は以下に述べるような受験者および家族です。

- 国際的な考え方をもち、国際的教育の目的を理解している
- 当校のカリキュラムを学習していける英語力レベルにある(言語サポートなしに、あるいは一定の言語サポートがあれば)
- G2 以上は、数学力が当校の期待値レベルにある
- 該当する学年相応の身体的発達及び社会性が身に付いている
- KIST のミッション、ビジョンと信条を理解し、賛同している
- 高い学問的向上心のある教育に明確な考え方を持っている
- 保護者が家庭で子どものサポートを十分にでき、また学校の催しやイベントを進んでサポートする意志がある
- その他、入学基準に定められた要件を満たしている

主な出願時期に関しては、最終結果はお知らせした日時(Section 3.02 参照)までにメールでお知らせします。それ以外の出願時期に関しては、インタビューおよび入学試験終了約 1 週間後にメールで通知します。結果は受験者の保護者にのみ通知されます。

試験結果についての個人的なお問い合わせにはお答えいたしません。
KIST はインタビューと入学試験についていかなる情報も提供しないというポリシーをもっています。
願書の提出はこのポリシーを理解し、同意したことを意味します。

4.02: 合否区分

選考結果には次のような種類があります。

- **合格** – 選考の結果合格となり、クラスの席が確保されました。Offer of Enrollment(合格通知)と一緒に学費の請求書が送付されます。指定期日までにお支払いがない場合、入学は自動的にキャンセルになります。
 - **合格(英語/数学サポート条件付き)** – 選考の結果、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングのうち一つ以上のスキル分野で言語サポートを受ける必要があるという条件付での合格としてお席が確保されました。数学の試験結果が当該学年で必要とされる期待値レベルに達していない場合、数学サポートを受ける必要があるという条件付での合格としてお席が確保されました。
 - **合格(条件付き)** – 選考の結果、学習面または行動面において問題点が見受けられるため条件付きでの合格となります。一定期間において当校での学習状況を確認し、必要となる条件が満たされたうえで、在籍の継続が認められることとなります。一定期間において必要となる条件が満たされなかった場合、合格は取り消しとなる場合があります。
 - **不合格** – 選考の結果、不合格となりました。不合格は通常、入試規定に定められた判断基準の一つまたは複数満たさなかった結果です。不合格の理由はお知らせいたしませんので、再出願を検討される前に選考基準を再度ご確認くださいをお勧めします。不合格となったお子さんの同年度内での再試験は行いません。お問い合わせもお受けしません。再出願は出願いただいた学年度中は受付できませんので、次学年度以降にお願いいたします。
 - **ウェイティング/英語サポート条件付きウェイティング** – 選考の結果合格となりましたが、現在該当クラスに空席がないため、空席が出るまでお待ちください。願書の提出時期に関係なく、ウェイティングの有効期限は願書を提出された学年度の終了時までとなります。空席状況は、性別、国籍、言語の必要性といった基準により判断されます。ウェイティング期間中に席が空いた際、学校からお知らせします。お席の確保が入学試験から 6 ヶ月以上経過した場合、最終的な判断を行う前に、出願者の現在のレベルを確認するため英語及び/または数学力の再評価を行うことがあります。この場合追加料金は頂戴いたしません。ウェイティングの有効期限までに席が空かなかった場合、ウェイティングは無効になります。また、空席待ちの間にお子さんの学力が入学に必要な基準を大きく下回ってしまった場合も入学許可は取り消しとなります。空席待ちの間は他の学校への入学も選択肢として検討されることをお勧めします。
- 学校は席が空くかどうか、いつ空くかについて保証はできないことをあらかじめご了承ください。お待ちの間、いつ空きが出るかはわかりません。空席が出次第学校からお知らせいたします。その際、なんらかの理由ですぐ入学できない場合は、そのままウェイティングリストに載せるか、または、入学をキャンセルされるかをお知らせください。ウェイティング期間中に状況に変化があった場合はアドミッションオフィスまでお知らせくださるようお願いいたします。
- **再選考** – やむを得ない理由で、出願者を面接/入学試験日に評価判断できなかった場合、新たに日時を決め、再度入

学試験を行います。特に低学年のお子さんが泣き止むことができなかつたり、ご両親と離れることができなかつたりで試験に参加できなかった場合、お子さんが落ち着かれ、試験が受けられるような状態になるまで最低 3 か月は再選考を行いません。再選考が完了するまで、最終結果は保留となり、クラスの席は確定されません。再選考が行われる前に空席が全て埋まってしまう可能性があります。ご了承ください。

4.03: 合格条件

英語または数学(G2 及びそれ以上の学年)の選考結果により、クラス内で提供可能な範囲を超えたサポートが必要とされるお子さんにつきましては、平日の始業前、または放課後サポートプログラムへの参加、および/または、夏休み期間中のサマープログラムへの参加を条件としての合格となります。サポートのレベルにより、参加を必須とするもの、参加が望ましいとされるものなどと条件は異なります。必須となったサポートプログラムにご参加いただけなかった場合、入学が取り消しとなる可能性があります。

エレメンタリーでの始業前/放課後サポートプログラムは、LEAP(Learning Enrichment Academic Program)と呼ばれる追加サポートです。参加には別途申し込み、参加費用が必要となります。受講料は参加日回数にもよりますが、1 学期に 20,000 円から 60,000 円程度です。また、サマープログラム(エレメンタリー、カンダリーともに)は、コースにより 40,000 円から 80,000 円程度となっています。上記費用は年度によって異なります。これらプログラムの詳細は適時学校ウェブサイトでご覧いただけます。

4.04: 合格受理

入学許可を受けたご家族はお子さんの席を確保するために早急にお手続き下さい。入学許可書には入学金他請求書が同封されています。入学を希望する場合は請求書に記載された期日までにお支払い下さい。入学許可書の有効期限は入学金支払い期日までです。期日までにお支払いがない場合は入学の意思がないものと判断し、入学許可は自動的にキャンセルとなります。一旦入学許可がキャンセルされますと再度入学許可を出すことはありません。また、他のウェイティングされているご家族との公正を維持するために、いかなる理由があっても払込期日の延長は致しません。入学を特別な理由で辞退された場合(たとえば、会社が転職を命じたなど)で、次のような条件が当てはまる時を除き、再度入学許可を出すことはありません。

- 該当クラスにすぐに入学できる空席がある場合
- 入学許可書に記載された入学日の前までに必ずアドミッションオフィスに連絡した場合
- 学費支払い期限日までに必ず入学許可の不受理理由を知らせた場合

上記の条件がすべて整わない限り、再度入学許可を出すことはできません。再度入学許可が認められた場合は手数料 2,000 円が発生します。

納入された入学金は、仮入学(セクション 5 参照)のお子さんが最終的に面接、入学試験で不合格になった場合を除き(その場合、保護者の方の要請により入学金をお返し致します)、理由の如何を問わずお返し致しません。保護者の方は入学金を支払い、入学をお決めになる前にご家族の状況を慎重に考慮し、スクールについて必要なことはすべてご確認下さい。

入金の確認後、入学手続き書類一式をお送りします。すべてのご家族は、登校初日までに緊急連絡先情報を含む全ての書類を提出しなければなりません。登校初日以前に全ての書類が提出されていない場合、生徒は授業を受けられませんのでご注意ください。

4.05: 入学時期の延期

入学時期を延期したい場合は、スクールのウェブサイトから **Application for Enrollment Deferral** をダウンロードして、必要事項を記入の上、提出して下さい。入学時期延期願いは Offer of Enrollment に記載された初登校日までに申請して下さい。この日までに提出されなかった場合は、入学の意思がないものとみなし、入学は自動的に取り消されます。座席を確保した延期措置を望まれる場合は、通常の入学者と同様、請求書に書かれた締切日までに学費を納めなければなりません。お支払いがない場合入学は自動的にキャンセルされます。座席を確保しない延期措置を望まれる場合は入学が確定するまで学費を納める必要はありません。

延期方法には次の 2 種類があります。

- **Secured deferral**(席を確保した上での入学時期延期) – お子さんが入学を延期する期間分の授業料と年間一般費をお支払い頂きます(バス代、ランチ代を除きます)。
- **Unsecured deferral**(席を確保しない上での入学時期延期) – 授業料未納の入学時期延期希望者に対しては席を確

保出来ません。延期期間中、他の合格者が出た場合は、その時点でお子さんの席は新たな合格者に移ります。入学希望の時点で空きがない場合はその学年度末までウェイティングリストに載せることは可能です。

入学時期を延期したい場合は、スクールのウェブサイトから **Application for Enrollment Deferral** をダウンロードして、**必要事項を記入の上、提出して下さい**。入学時期延期願いは **Offer of Enrollment** に記載された初登校日までに申請して下さい。この日までに提出されなかった場合は、**入学の意思がないものとみなし、入学は自動的に取り消されます**。座席を確保した延期措置を望まれる場合は、通常の入学者と同様、請求書に書かれた締切日までに入学金を納めなければなりません。お支払いがない場合入学は自動的にキャンセルされます。座席を確保しない延期措置を望まれる場合は入学が確定するまで入学金を納める必要はありません。

4.06: 入学後の再審査

入学後に入学選考時と異なる事情が生徒に生じた場合、学校は再審査を行います。入学選考時に生徒の学習障害が認識されず、入学後に明らかになった場合などが当てはまります。再審査の目的は生徒のニーズを認識し、学校が生徒のニーズに十分に見合った設備やスタッフを用意できるかどうかを判断するためです。そして保護者の方がその生徒のニーズに合ったサポートの出来る分野を判断するためでもあります。KIST では学習支援の専門家を採用しておりませんので、再審査において学校がその生徒のニーズに適切な対応ができないと判断した場合、残念ながら退校という措置をとらせていただきます。

4.07: 言語再試験の申し込み

英語サポート付きウェイティングの通知を受けた受験者は、6 か月以上経過後英語再試験を希望することが出来ます。再試験の結果英語力の向上が見られ、言語サポートなしに授業についていけると判断された場合、普通のウェイティングリストに移行し、言語サポートなしの席に空席が出た時にも入学が可能となります。英語力の向上が見られなかった場合は引き続き英語サポート付きウェイティングリストに期限まで留まることとなります。言語再試験をご希望の場合は言語再試験の申込用紙をアドミッションオフィスに請求し必要事項をご記入の上お申し込み下さい。再試験費 5,000 円は試験当日現金でお支払いいただきます。ウェイティングの期限が 6 か月を過ぎた生徒は再試験を受けられませんのでご注意ください。再試験の際、判断の対象学年は出願時の対象学年にもとづいた学年のみとなります。

4.08: 入学試験再受験

受験は 1 学年度に 1 回のみ可能です。不合格になられた場合、願書提出は次の学年度までお待ち下さい。1 月から 3 月の入学希望で 12 月にインタビュー/入学試験を受けて不合格だった場合、再受験は 6 か月経過後に次の学年度(次の学年)に対し受験してください。※翌月の 1 月に行われる 4 月、8 月入学のための試験は受けられません。

Section 5: 仮入学(海外在住受験者のみ)

5.01: 仮入学

英語を母国語とし、現在日本以外に在住の生徒は、仮入学審査を申請することができます。合格した場合、来日後に行われるインタビューと入学試験まで座席が確保されます。しかし、この制度はあくまで仮のものであり、**入学を完全に保証するものではありません**。来日後に行われるインタビューと入学試験の結果によっては仮入学は取り消されます。また、受験者または保護者に関する情報が出願書類に書かれた内容と異なることが判明した場合、仮入学は取り消されます。

5.02: 仮入学の出願資格

G1 以上の、特に英語と算数/数学において優秀な学力が証明されている希望者は仮入学審査を申請することができます。以下の状況においては仮入学での出願はできませんので通常の入学選考手順を踏まなければなりません。

- K1、K2、K3 への出願
- 母国語が英語以外
- 出願時にすでに日本に在住している
- 該当学年より上、または下の学年への出願

また、以下の状況下において仮入学は許可されません。

- 出願者の教育背景、学習意欲、直近の学習成績、態度や行動、学習ニーズ、家庭状況、生活状況、その他について懸念点が出願文書から明らかな場合。また、G6 以上に関しては、出願書類から学習意欲、直近の高い英語及び数学成績(7段階評価の場合 6 または 7 相当)、授業での集中力や、優秀な態度について判断できる根拠が求められます。
- 同時期に出願した兄弟姉妹の仮入学が許可されなかった場合
- 出願した学年に空席がほとんど、あるいはまったくない場合
- 希望在籍期間が 1 年に満たない場合

DP プログラムは非常にアカデミック的に難しいため、G11 への仮入学の申請の可能については出願前にお問い合わせ下さい。

5.03: 仮入学の出願方法

仮入学受験には、通常の**入学願書**と書類及び出願料の他に、以下の書類の提出が必要です。

1. 仮入学出願フォーム

本校ウェブサイトより入手可。本書には本校からお問い合わせをする場合に必要となる出願者の担当教員または学校長のご連絡先も含まれます。

2. 出願者自身が書いた英語文書サンプル

サンプル文書は出願者のライティング能力がはっきり分かるような長さのものである必要があります。出願のために別途書かれたものではなく、通常の学校課題として書かれたものでなければなりません。どの教科のものでも構いませんが、日常の出来事をつづったものではなく、教科内容に関連したものです。

3. 仮入学評価用英語文書サンプルアンケート

本校ウェブサイトより入手可。文書サンプルがどのような状況下で書かれたものかを出願者の担当教諭が説明したものの。また、課題にあたって与えられた指示やサポート内容、他の大人のサポートの有無などを記載。

4. 数学推薦書

本校ウェブサイトより入手可。出願者の現在、又は直近の算数/数学教師によって記入。作成の際は該当学年の用紙を使用すること。

上記の書類に加えて G6 以上の出願に際しては、来日前に英語及び/もしくは数学の試験を受けなくてはなりません。英語のテストは Duolingo English Test Platform が提供するオンラインのものを受けていただきます(別途料金が発生します)。数学は出願者の現在通われている学校で受験してください。さらに、受験者と保護者の方はオンライン(Skype)で英語のインタビューを受けていただくこともあります。テスト及び/またはインタビューの有無については選考過程において出願書類を元に学校が判断いたします。これらが必要と判断した場合、別途ご連絡させていただきます。

5.04: 仮入学の選考と合否の通知

願書提出後、通常受験者と同じ判断基準で書類審査が行われます。また、願書同様、ライティングサンプルと数学推薦書も審査されます。仮入学希望者の書類審査は通常のものより時間がかかります。審査の結果、学校の求める条件を満たし

ていない、あるいは英語のレベルが入学を希望している学年のレベルまで達していないと判断された場合、仮入学は認められません。受験者と保護者の方が来日し、インタビューと入学試験を受けるまで願書は有効となりますが、合否の決定にはその時のクラスの空席状況が考慮されます。来日前に英語及び・もしくは数学の試験を受け不合格であった場合、仮入学許可をお出しすることはできません。

仮入学が認められた場合、学校から仮入学許可書(Offer of Provisional Enrollment)と入学金の請求書をお送りします。お子さんの席を正式に確保し、入学の意思を明確にするためにも、入学金は請求書に記載された期日までにお支払いください。指定期日までにお支払いいただけなかった場合、入学は自動的にキャンセルとなります。他に入学を希望している受験者の方もいらっしゃいますのでお支払い期日を延ばすことはできません。

正式な入学は、お子さんの来日後に行われるインタビューと試験に合格した場合にのみ許可されます。正式に入学許可が出た場合、学費や諸経費の請求書をお送りいたします。来日後の試験の結果、学校側が正式入学を許可できなかった場合は納入された入学金を返金いたします。それ以外は家族の事情を含めていかなる場合も入学金は返金されません。

仮入学合格者は入学時期の延期申請を行うことはできません。

Section 6: 生徒サポート

6.01: 英語サポート

KIST ではすべての教師が言語教師であり、言語は特定の言語活動だけでなく、カリキュラムを横断した型で指導されなければならないと認識しています。また、全ての生徒が異なる学習形態と学習ニーズを持つ個人であるということも認識しています。英語の習熟度に関しては、教員は生徒達がそれぞれの持つ能力を最大限に伸ばすことが出来るよう教室での活動計画を行っています。また、クラスでの差異化のほかにも援助が必要と判断された生徒に対し、英語サポート(ELS)が提供されます。本ハンドブックに記載のとおり、提供されるサポートのレベルに限りがあるため、入学に際しては学年レベルに応じた英語での学習及びコミュニケーションが十分に行える英語力が必要です。英語力が明らかに低い出願者は入学することができません。

英語サポートの評価

KIST での授業を開始する前に、生徒達に対し、英語インストラクターまたは担任/教科担任による標準英語力診断を用いた評価が行われます。本評価は、読み・書き・リスニング・スピーキングに分かれています。本評価の結果は担任やインストラクターによるサポートがどの程度必要なのかを測る第一指標として用いられます。サポートを提供されている間、生徒の到達度はレベル水準指標、課題サンプル、授業参加などの観察を通して継続的に評価されます。到達度の報告は学期毎に通知表の別表として保護者に送付されます。

エレメンタリースクールでの英語サポート

エレメンタリースクールでは英語サポートは主に二つの重複する目的のため、K1 から G5 の英語を母国語としない生徒に提供されています。まず、自身の現在の英語力だけでは本校のカリキュラム内容についていくのが難しい生徒に対しては、カリキュラムに含まれる概念や学習内容の理解が得られるよう、また、生徒自身が内容の理解についての表現が行えるようサポートを行います。次に、サポートは英語学習者の言語能力の発達を促進します。生徒の言語能力、学習活動、教材により、言語サポートは下記のうちひとつ、また複数にまたがった形態をとります：

- 授業への割り込み、授業からの引き抜き、もしくは指導の差異化
割り込み、引き抜き型の混交型サポートは、生徒がカリキュラム内容に触れながら、英語力を発達させることを促進します。引き抜き型のサポートは、英語サポート講師による個別の授業を行うため、一人、もしくは同様のニーズを持った小数の生徒達が通常の授業から引き抜かれた型で行われます。これと対照的に割り込み型のサポートは、講師が担任と共に通常授業に参加する形で行われます。どちらのケースにおいても、全ての生徒がその単元の目標を達成し、授業の差異化を行うに当たり、生徒の言語ニーズや学習方法、その他の個人的な背景やニーズが満たされるよう、担任と講師が共に授業計画を立てます。生徒が特に十分な英語力を持った仲間たちとの交流において意義ある形で最大限の言語使用の機会を持つことが出来るよう、割り込み型サポートが最も頻繁に採用されます。そのため講師は、通常の授業中に差異化された指導において適切な助言を行ったり、生徒に合った教材を使用したりします。しかしながら、ある特定の内容の復習や、技術の習得を目指すには引き抜き型がもっともふさわしいとされる場合もあります。この場合、数回の引き抜き型の授業が行われますが、このような形態の授業は通常教室での次の授業内容に戻るために必要な知識を固めるために行われる単発的なものであることが多いです。
- 言語に特化したカリキュラム並行型の活動やプログラム
全校を通じたカリキュラム並行型の活動プログラムとして、様々な学習クラブやサポートクラスが提供されています。エレメンタリーでは Learning Enhancement Academic Program (LEAP) が、K3 から G5 の生徒達を対象に毎朝行われています。これらの 30 分の授業は様々な英語スキルに焦点を当てており、生徒は週 2 回から 5 回受講することが出来ます。人数制限があるため、最も重要な英語ニーズを持った生徒に優先権が与えられます。

セカンダリースクールでの英語サポート

セカンダリースクールでは英語を母国語としない生徒、または現状の英語力では自力でカリキュラム内容に十分ついていくのが難しい生徒を対象に英語のサポートを提供しています。生徒の英語力により、言語サポートは下記のうちひとつ、また複数にまたがった形態をとります。

- 指導の差異化 (G6~G12)
セカンダリースクールの G6~G8、G11~G12 では英語の指導経路は下記の通りとなります。

学年	科目	説明
G6~G8	言語と文学	英語を母語とする生徒、またはそれに近い言語サポートを必要としない生徒のための、文学を中心とした科目。リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの言語 4 分野すべてがすでに充分習熟している必要がある
	追加の英語集中サポートがついた、言語と文学	英語でのカリキュラム受講の際に追加サポートを必要とする生徒のために設けられたコース。このコースの生徒も通常の言語と文学の授業に参加するが、毎週個別でのサポートを受けるため、追加の英語クラスが調整された時間割に沿って学習します。総括的評価及び内部診断テストにおいて高いレベルでの達成度が見られた場合、このコース終了の推薦を受けることができます

G9~G10	言語と文学	英語を母語とする生徒、またはそれに近い言語サポートを必要としない生徒のための、文学を中心とした科目。リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの言語 4 分野すべてがすでに充分習熟している必要がある
G11~G12	言語と文学 (上級レベル)	英語を母語とする生徒、またはそれに近い、文学鑑賞を好む生徒のための非常に要求度の高い科目。深いレベルでの理解力に加え、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの言語 4 分野すべてがすでに高いレベルで習熟している必要がある
	言語と文学 (標準レベル)	英語を母語とする生徒、またはそれに近く、英語への十分な理解と習熟度を持ち、より高いレベルでのリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの言語 4 分野すべて、あるいは部分的な技術を現在発達させている生徒を対象とした科目

註: 追加の英語集中サポートを受けている間、G6~G8 生徒は、英語の時間数増強のため美術と音楽を受講しません。それ以外の MYP 科目は他の生徒と一緒に受講します。生徒は G8 の終わりまでに追加サポートを終了することが求められます。

新入生に関しては KIST への出願時に行われる評価テストによってクラス分けを行います。G6~G8 で言語サポートが必要と判断された生徒は、ふさわしいスキルを拾得するまで追加サポートを受けます。

学習の性質上、G11~G12 では教室内の英語サポートを提供しません。そのため入学テストの結果、自身で授業についていくことが難しいと判断された場合、入学許可が下りない可能性があります。

- **教室内の英語サポート(G6~G10)**

自力でカリキュラム内容に十分ついていくのが難しい生徒に対し、教室内サポートが提供されます。教科担任がサポートが必要であると判断し、英語サポートコーディネーターがこれを精査し、承認した生徒はすべて教室内サポートを受けます。教室内サポートは評価及び課題のハードルを下げる、ヒントを出すなどの枠組み、語彙に関する助言、小グループ授業、リサーチ及び評価のサポート、または必要と思われる方法を通して行われます。

英語サポート講師は教科担任及びコーディネーターと協力し、生徒に最適のサポートを提供します。サポートを提供中の生徒の達成度については記録、管理されています。

- **教室外英語サポート(G6~G10)**

セカンダリースクールでは、サポートが与えられれば通常授業に支障がない、比較的高いレベルの英語能力が入学時に求められます。しかし特別な状況下では必要に応じて教室外での引き抜きサポートが提供されます。このようなサポートは通常の授業時間外(始業前/放課後)に提供されますが、教科担任との協議の上で、授業内容の理解や復習のために講師との一対一での授業が認められることがあります。

- **言語に特化したカリキュラム並行型の活動やプログラム: アカデミックライティング(論文作成)**

セカンダリースクールではアカデミックライティングのサポートが必要な生徒は 1 週間を通して追加授業を受講できます。アカデミックライティングは言語と文学を受講し、よりライティングの向上が望ましいとされる生徒を対象としています。これらのクラスは様々なジャンルのライティングの理解向上に役立ち、生徒が求められる正しい文体で文章作成ができるようサポートします。アカデミックライティングは週を通して一時間目が始まる前(始業前)に開講されています。

6.02: スペシャルニーズのサポート

KIST では学習支援スペシャリストを採用しておりませんので、学習、行動、精神的なスペシャルニーズを必要とする生徒の願書を受け付けることはできません。入学後にサポートが必要と判断された場合、お子さんのニーズにあった他の学校を探していただくことになります。

6.03: 慣らし期間(K1 の生徒のみ)

学校に初めて通い始めるお子さんはさまざまな思いを経験します。自信を持ってワクワクしている子もいる一方で、心配でたまらない子もいるかもしれません。お子さんが不安に感じるのは、保護者から離れることからきていて、特に初めての集団生活であればなおさらです。また、第一言語が英語でないお子さんが、英語環境の学校に通い始めるとなれば、お子さんにとってさらに負担が増します。

学校生活に出来るだけスムーズになじむことができるように KIST では入学時期に関係なく、K1 の新入生は慣らし保育を行っています。このことで生徒は時間をかけて徐々に学校生活になじめるようになります。入学の時期によっては、慣らし保育の型が少し異なる場合があります。

新年度の初めから KIST に入学する生徒には、10 日間の慣らし保育があります。最初の週は子供たちを 2 つのグループ

に分け、午前と午後に1グループずつ、短い授業を2つ行います。次の週には全ての生徒が長めの午前中の授業を受けます。3週目からは普通の授業となります。

KISTに学期の途中から入学した場合、登校初日から5日間が慣らし保育となります。この期間中生徒は午前の授業だけ参加し、ランチタイムの前に帰宅します。生徒の様子によっては慣らし保育の期間が延長される場合もあります。慣らし保育の詳細については、入学決定後お知らせいたします。

Section 7: 保護者

7.01: 保護者のサポート

よい学校というのは学習面で優れているというだけでなく、暖かく生徒を見守る学校環境、地域社会、そしてなによりご家庭との強い絆があってこそ成り立つものです。この絆は保護者の方がご家庭でお子さんの学習をサポートしていただくとともに、学校の教育プログラムをお手伝いいただくことによってさらに強まると思います。KIST ではお子さんの教育や学校行事に積極的に参加していただく保護者の姿が、子どもたちのよきお手本になると信じています。

KIST では保護者が K1 から G12 までお子さんの教育に関わっていくことを強く期待しています。お子さんの学年が上がるにつれ、保護者がお子さんの学校生活のことを考える時間が様々な理由で減ってしまうことがよくあります。私たちは子どもが成長すると、彼らが自立できるぐらいの十分な常識と技術を身につけたと思いがちです。この考え方は間違っていないかもしれませんが、セカンダリースクールに進学し、青年期に入っても子どもたちには保護者の関わりは大事だと考えています。勉強量の多いディプロマ・プログラム (DP) を受講する G11 と G12 にとっては特に保護者のサポートがとても大切です。

いくつかの年間行事へのご家族の参加は必須となっています。これらには KISTival (毎年開催される学園祭)、保護者説明会、三者面談、生徒主導型面談、ファミリーデーなどを含みます。年間行事の日程はご家族に事前に予定していただけるよう、年間カレンダーにてお知らせします。

多くの保護者の方にはお仕事など、それぞれの都合があることは承知しておりますが、学校全体の全学年のご家族がお子さんのために学校をサポートしていただくことをお願いします。

7.02: スクールサポートプログラム (SSP)

出来るだけ多くの子どもたちに国際的な教育を提供するという KIST の目標を達成するためには、保護者の方のご協力が欠かせません。スクールサポートプログラム (SSP) はその目標を達成させる一つの方法です。このプログラムでは年間費を支払うか、特定のお手伝いをさせていただくか選ぶことができます。これにより学校は補助人員を雇うコストを削減することができます。現在 SSP では保護者の方にバスヘルプとランチヘルプのお手伝いをお願いしています。

SSP を出来る限り公平に行うために、全ての生徒のご家族には、これらのお手伝いか、年間費として金銭的サポートをさせていただくことを義務付けています。他のサポートは SSP には含まれません。KIST は保護者の方のサポートに感謝しておりますが、自主的な他のサポートは SSP に参加したことにはなりません。毎年開催される学園祭 (KISTival) でのお手伝いも義務付けられており SSP には含まれません。

KIST にお子さんが入学される際、SSP を特定の学校指定のお手伝いで参加していただくか、または年間費をお支払いいただくか選択していただきます。入学時に選択された方法は KIST 在籍中有効です。次年度以降はこの方法を変更することも可能です。

お手伝いを選択された場合、毎年のお手伝いの回数は、1 家庭当たりのお子さんの数にかかわらず、当校に入学された時期をもとに決められます。お支払いを選択された場合、請求額はお手伝い 1 回あたり、25,000 円で計算されています。下の表はサポート回数、および相当寄付金額を示したものです。

スクールサポート日数と支払い費用対応表		
入学時期	お手伝い割り当て年間日数	年間支払い費用
8 月～10 月末	4	100,000 円
11 月～12 月末	3	75,000 円
1 月～3 月末	2	50,000 円
4 月～5 月末	1	25,000 円
6 月	0	0 円

お手伝いを選択された場合、オンラインでご自身の希望日を申込みます。途中から入学された場合はまだ埋まっていない日があればお申込み可能ですが、お手伝いの空きがない場合は次年度に繰り越しとなります。

金銭的サポートを選択されたご家庭には学年度開始までにお支払いいただく請求書を発行します。

KIST への入学を決めたということは、SSP に協力をするというを同意していただいたこととなります。SSP への参加は次年度在籍の条件となります。保護者の方が時間的に貢献して下さることで、全ての生徒に利益がもたらされます。

7.03: 保護者の関わる学校行事など

スクールサポートプログラム以外にも、KIST では保護者の方に様々な行事に参加していただきます。これらの行事には以下のものが含まれます。

1. **Parent welcome nights: ようこそ/おかえりなさい保護者説明会**
学年度の初めに行われるこのセッションでは、保護者の方にその学年度の学校に関する説明を行います。保護者の方はこの機会に担任に会い、新しいクラスでの決まりごとや、求められていることを知ることができます。
2. **Parent/Teacher/Student interviews: 三者面談**
セメスター1に行われるこの面談は、お子さん、保護者、教員の3者によるお子さんの勉強の成果について話し合う機会を提供します。新学年への取り組み方や、年間の学習や行動の目標について話し合います。
3. **Student led conferences: 生徒主導型面談会**
保護者の方には、それぞれのお子さんの学習評価の一環としてこの面談会には必ず出席していただきます。セメスター2に行われるこの生徒主導型面談会を通して、お子さんは、日ごろの勉強の成果を保護者の方にお見せできるだけでなく、自分の勉強の進み具合を自分で管理する責任を学ぶことができます。他の人に自分が学んだことを説明することで、より理解を深めることができます。
4. **Parent information sessions: 保護者のための学習会**
インターナショナルバカロレアのプライマリーイヤープログラム、ミドルイヤープログラム、ディプロマプログラムに準拠した当校のカリキュラムをより理解いただき、お子さんの学習を積極的にサポートしていただくために、当校では保護者の方を対象としたカリキュラムや評価法についての勉強会を年間を通して開催しています。
5. **Excursions: 遠足、課外授業**
お子さんのクラスの遠足や課外授業に保護者の方に参加していただくことがあります。これは、お子さんたちと一緒に未知の世界を探求し、新たな発見を得るといった絶好の機会となります。
6. **Class parents: クラスペアレンツ**
エレメンタリースクールでは、担任や学校から依頼があった際、クラスの取りまとめやサポートを行う役目として各クラスで「クラスペアレンツ制度」をとっています。通常各クラス1~2名の保護者のボランティアをお願いしています。
7. **KIST Community Association (CA): 保護者会**
すべての保護者の方はお子さんの在籍中保護者会(CA)の会員となります。年度の初めにその年の会費を集めます。CAではボランティア活動や金銭的サポートを通して学校の発展に寄与していただき、スクールコミュニティーのコミュニケーションを促進します。保護者の方には役員会やその他の準備委員会などを通してCAで積極的に活動していただきたいと思えます。この役割を全うしてくださった役員及び委員長にはスクールサポートプログラム(SSP)のポイントを認定する場合があります。
8. **KISTival (School Festival): キスティヴァル(学園祭)**
毎年原則10月第4土曜日にKISTival(学園祭)が行われます。KISTivalの収益は、学費では賅うことのできない設備の充実、学校の教育環境向上のために取り組む特別プロジェクト等に使われます。日々進歩する学習プログラムを補うための充実は不可欠です。そのためスクールコミュニティーが協力してKISTivalを成功させ、出来る限り多くの収益をあげる必要があります。全ての保護者の方に前日の準備と、当日の売り場のお手伝いが義務付けられています。食べ物、商品の提供、販売する食べ物の材料、運営費などの寄付もお願いしています。公平を期すため、前日準備及びまたは当日お手伝いいただけないご家庭には実働の代わりにご寄付にて貢献していただきます。
9. **KISTival Leader: KISTival リーダー**
毎年恒例のKISTival(学園祭)での学年ブースの運営を取りまとめるリーダーです。エレメンタリー及びセカンダリーの各クラス、通常1-2名のボランティアの保護者の方をお願いしています。この役割を全うしてくださった保護者の方にはスクールサポートプログラム(SSP)のポイントを認定する場合があります。
10. **Family Day: ファミリーデー**
KISTコミュニティーの親睦をはかることを目的に、毎年5月の土曜日にファミリーデーが開催されます。当日は、お子さん、保護者、教職員皆で競技や楽しく体を動かすアクティビティに参加します。また、学年度終了間近に行われるこのイベントでは、翌年度に向けたインフォメーション等の発表も行われます。教職員や他の保護者との交流の良い機会を提供いたします。

7.04: 保護者の行動規範

協力的な関係を築き、全ての人にとって安全で安心な環境を確保するため、保護者の皆さんにも、以下で示す三つの基準からなる行動規範に従っていただく必要があります。これら基準はさらに細分化され、定義されています。

尊敬

保護者は他の人を思いやり、良好な学校環境や評判を促進するための行動を行います。

原則 1: 保護者は学校のミッション、ビジョン、信条に沿います。

原則 2: 保護者は他者との敬意ある適切な交流を通じて良好な学校環境の維持に貢献します。

原則 3: 保護者は学校の良好な評判の促進に貢献します。

責任

保護者は自身の子ども、学校、そして学校コミュニティに対する義務を満たすための行動を示します。

原則 4: 保護者は学校の方針や手順を守り、これを支援します。

原則 5: 保護者は子どもの学習を支援します。

原則 6: 保護者は学校の活動や行事を支援し、これに参加します。

安全

保護者は学校コミュニティ全員の安全、安心、プライバシーを維持のための行動を示します

原則 7: 保護者はすべての生徒の福利と安全、プライバシーを確保、考慮した行動をします。

各原則への対応を含む、「保護者の行動規範」の完全版は入学時にご家庭に提供されます。

Section 8: 学費

8.01: 2021-22 授業料

当校は日本国政府から助成金を受けていないため、ほぼ学費の納入のみからなる学年度ごとの資金運営を行っております。学費は物価や人件費の定期昇給分の上昇を吸収するため毎年一定額の改定があります。それ以外に急激な物価変動や教育政策の大幅な改革など、更なる改定が生じる場合は、出来るだけ早い段階で保護者の皆さまにお知らせいたします。

学費

種類	学年	金額	支払い時期
受験料	全学年	¥20,000	出願時
入学金		¥300,000 (再入学時: ¥60,000 ¹)	入学時のみ
施設拡張費		¥600,000 (再入学時: ¥120,000 ¹)	
授業料		¥2,150,000	年額
施設維持費		¥100,000 ²	
CA(保護者会)会費(家族ごと)		¥2,000	
IB DP 試験検定料	Grade 12 のみ	¥160,000	9月15日: ¥80,000 12月15日: ¥80,000
IGSCE 試験検定料	Grade 9、10 のみ	金額は変動します ³	第一回支払期限
iPrimary 試験検定料	Grade 5 のみ		
iLowerSecondary 試験検定料	Grade 8 のみ		
ISA 試験検定料	Grade 3~Grade 9		
キャンプ代	Grade 5、7、9、11	金額は変動します ⁴	
プログラム進学費	Grade 1、6、9、11 進学時	¥3,000	

¹ 3年以内に KIST に再入学する際には割引料金となります(退校の日付から 1・2・3 年以内に再入学する生徒。退校から 4 年目に再入学する生徒には適用されません)。

² 4 月以降から入学する生徒の場合は減額されます。

³ 海外のオフィシャルテストを利用しますので、料金は為替相場によって変動します。

⁴ キャンプにかかる費用は、行先などにより金額が変動します。

その他の費用

種類	学年/書式	金額	支払い時期等
各種書類作成費用	在学証明書 ⁵	¥1,000	1 通
	在籍期間証明書 ⁵		
	推薦書、学校調査票、その他書類 ⁶		
	成績表再発行		
	成績証明書(セカンダリーのみ)		
	請求書再発行		
ID カード(Edy Card)再発行	全学年	¥2,000	1 枚
入学試験料 ⁷		¥5,000 から	1 回/1 時間
入学テスト再試験料 ⁸		¥5,000	1 回
入学許可再発行費 ⁹		¥2,000	発行時
IB DP 試験 再審査費用		¥20,000 から	受験する試験毎

⁵ 様式がいろいろありますので、必要な場合はオフィスにご相談ください。

⁶ 転校先からの指定書類がある場合はお問い合わせください。

⁷ 海外の学校に転校される際に KIST で行われる転校先の入学試験実施費用。試験の送料は別途請求します。

⁸ 英語サポート条件付きでウェイトिंगだった場合の再試験。

⁹ 入学許可を辞退した後に入学許可を再発行する場合。

8.02: 就学支援制度

KIST は様々な社会的背景の生徒が、高い水準の国際的な教育を受けられるよう、学校のミッションや信条に沿い、経済的にサポートが必要な家族に配慮をしています。現在以下の 2 つの就学支援制度があります。

1. 就学支援奨学金

2021-22 学年度から導入される新しい支援制度です。この奨学金は KIST での就学に必要なご家族に提供される特別支援制度です。

- 対象者: K1 から G12 の全学年 ※日本に 1 年以上在住している入学希望者(新入生)も対象
- 支援内容: 授業料の半額を奨学金として支給。2021-22 年度において対象者数は新入生を含め全校生徒の 1% を上限とする。
- 申込条件等: 経済的サポートが必要なご家庭であり、日本国内にて発行された収入証明書または納税証明書の提出が必要です。
在校生保護者は学校への過去の貢献度(および今後の貢献予定含む)、新入生保護者については今後の貢献予定に対し評価。在校生については生徒の学習姿勢を評価。セカンダリースクールの G7 以上の生徒に関しては、在校生および新入生共に成績も評価対象となります。毎年申請が必要です。詳細はオフォスにお問い合わせください。

2. 学費減免制度

- 申請者数の上限を設けず学費の一定額を減免する制度です。2024-2025 学年度から廃止となります。
- 対象者: 継続して在籍する K2 から G12 の生徒 ※K1 を含む新入生は対象となりません
- 申込条件: 日本国内にて発行された収入証明書または納税証明書の提出が必要です。毎年申請が必要です。申請申込案内はセメスター2 に出ます。
- 減免金額: 150,000 円

8.03: 支払オプション

8 月の新学年度から入学した生徒の学費は一年分を一度にまとめてお支払いいただく(年間一括払い)か、3 回に分けて(分割払い)お支払いいただきます。一括払いの場合は割引があります(条件有り)。その他の時期に入学された場合は、分割払いのみとなります。

1. 年間一括払い

この支払方法は新学年度から入学する生徒のみに適応されます。1 月に入学試験を受け、4 月または 8 月に入学される方の支払期限は、セクション 3.02 をご覧ください。8 月から入学するためにセメスター2 に出願された場合は、合格通知日から 1 週間以内にお振込にてお支払いいただきます。お子さんの登校初日が 2 週間以内の場合は、登校初日までにお振込にてお支払いください。年間一括払いの金額は下記の表のとおりです。会社払いと支払期限を過ぎてのお支払の場合、就学支援制度の適用を受けている場合授業料割引はありません。

K1~Grade 11	
入学金	¥300,000
施設拡張費	¥600,000
授業料	¥2,150,000
施設維持費	¥100,000
CA 費 ¹	¥2,000
計	¥3,152,000
割引額	¥21,500
支払額	¥3,130,500 ²

Grade 12	
入学金	¥300,000
施設拡張費	¥600,000
授業料	¥2,150,000
施設維持費	¥100,000
CA 費 ¹	¥2,000
IB DP 試験検定料	¥160,000
計	¥3,312,000
割引額	¥21,500
支払額	¥3,290,500

¹ CA 費は家族ごととなります。
² 上記支払額に試験検定料とキャンプ費が加わります(該当学年のみ)。

2. 分割払

授業料のみ分割払いができます。その他の費用(入学金、施設拡張費、施設維持費と CA 費)は第 1 回目に全額をお支払いいただきます。お支払い方法はお振込となります。1 月に入学試験を受け、8 月に入学される方は 3 回分割になります。最初のお支払日はセクション 3.02 にあるとおりで、入学金、施設拡張費、施設維持費、CA 費と授業料の一部をお支払いいただきます。2 回目は 9 月 15 日、3 回目は 12 月 15 日までにお支払いいただきます。下表をご覧ください。

K1-Grade 11			
	第一回	第二回	第三回
支払期限	2 月 22 日 ¹	9 月 15 日	12 月 15 日
入学金	¥300,000		
施設拡張費	¥600,000		
授業料	¥860,000	¥645,000	¥645,000
施設維持費	¥100,000		
CA 費 ²	¥2,000		

Grade 12			
	第一回	第二回	第三回
支払期限	2 月 22 日 ¹	9 月 15 日	12 月 15 日
入学金	¥300,000		
施設拡張費	¥600,000		
授業料	¥860,000	¥645,000	¥645,000
施設維持費	¥100,000		
CA 費 ²	¥2,000		

計	¥1,862,000	¥645,000	¥645,000	IB DP 試験検定料		¥80,000	¥80,000
支払額	¥3,152,000 ³			計	¥1,862,000	¥725,000	¥725,000
				支払額	¥3,312,000		

¹ K3のお支払のみ 2021年3月5日までが期限となります。

² CA費は家族ごととなります。

³ 上記支払額に試験検定料とキャンプ費が加わります(該当学年のみ)。

1月の入学試験期間以降に試験を受けた方の第一回の支払期限は合格通知日より1週間以内となります。第二回、第三回の支払期限は上記の通りです。

2年目以降の分割払い期限は次の表のとおりです。授業料は3分割された金額を、その他の費用は第一回支払期限5月15日までにお支払いください。お支払いの詳細については、3月に各ご家庭に通知します。もし各15日が土日祝日の場合は、翌日銀行営業日が支払期限となります。

学費	支払期限
第一回	5月15日
第二回	9月15日
第三回	12月15日

8.04: その他の費用

着用が義務付けられている制服の購入、スクールバスやスクールランチの費用、教科書代(必要に応じて)、キャンプ参加費などの請求書は別に送られます。各代金のお支払い方法は指定口座へのお振込となります。

1. 制服

80,000円から

KISTでは全校生徒に制服の着用が義務付けられています。制服は受付で販売しています。制服には夏服と冬服があり、体操服もあります。

2. スクールバスサービス

年間 110,000円~440,000円

KISTでは、限られた範囲で生徒の登下校用にスクールバスを提供しています。このバスサービスは、時間とコストに無理のない範囲のルートに限って提供されています。スクールバスは利用者が支払いをするシステムで、登録者のみが利用することが出来ます。バスルートや停留所は毎年見直され、変更される場合があります。そのため、現行のバス停の近くへの引越しを検討されている方はご注意ください。バス停の決定権は原則的に学校にあり、個人の要望に応じて調整を行うことは出来ません。

スクールバスの座席数は限られているため、バスサービスに申し込まれた全てのお子さんにご利用頂けるとは限りません。空席がない場合、お子さんはウェイトリングリストに入り、空席が出次第申し込み順で利用のご案内をさせていただきます。

バスは、往復または片道でご利用いただくことができ、3期にわたっての請求となります。片道は午前または午後の決められたどちらかでの時間帯でのご利用となり、曜日ごとのスケジュールなどでのご利用はできません。スクールバスは生徒のみとなります。保護者の方は利用できません。()内は10%の消費税込みの金額です。特定の曜日のみバスを利用する生徒を対象とする割引はございません。

Pink Bus バス停(Roppongi/Hiroo/Tokyo route)

(中央区): 東京駅八重洲口(朝のみ)

(港区): 麻布、大門(午後のみ)、六本木1丁目(午後のみ)、芝公園(朝のみ)、天現寺

(渋谷区): 代官山

Blue Bus バス停(Toyosu route)

(中央区): 勝どき、月島

(江東区): 東雲、豊洲

往復

20,000円(22,000円)/月

30,000円(33,000円)/月

40,000円(44,000円)/月

20,000円(22,000円)/月

20,000円(22,000円)/月

片道

10,000円(11,000円)/月

15,000円(16,500円)/月

20,000円(22,000円)/月

10,000円(11,000円)/月

10,000円(11,000円)/月

3. スクールランチサービス

スクールランチのオーダーはオプションです。学校で用意されるランチはオーガニック、又はオーガニックに近い素材を使用した、栄養バランスのとれたものを提供しています。アレルギーやダイエット食等の特別食には対応することはできません。スクールランチのオーダーと支払いは学校の長期休暇に合わせて年3回(8月から12月分、1月から3月

分、4月から6月分)です。週のどの曜日にオーダーするか選ぶこともできます。合計額は週何回ランチをオーダーするかによって異なります。()内は 10%の消費税込みの金額です。

幼稚園サイズ 470 円(517 円) / エレメンタリーサイズ 570 円(627 円) / セカンダリー サイズ 620 円(682 円)

4. 教科書

セカンダリースクールでは教科によって教科書が必要となります。各ご家庭に必要な教科書をご購入ください。お子さんが選択した科目や年度によって、教科書と教科書の値段は変わります。エレメンタリーでは K2 から G5 の生徒まで算数のワークブックが必要になります。各ご家庭に必要な教科書をご購入ください。詳細は入学時にお知らせします。

5. ビフォーケア・アフターケア(K1 から G3 のみ)

保護者の方のお仕事その他の都合で、通常のスクール終了時間より長く、または登校時間より早く学校に来る必要のあるお子さんを対象にビフォーケア及びアフターケアを提供しています。お預かりできる人数に限りがありますので、別途学校の定める優先基準に従ってお受けいたします。ビフォーケア・アフターケアの利用料金は下記の表の通りです。月途中からの利用・月途中での解約でも、一ヶ月分の料金となります。いかなる理由があっても、キャンセル、欠席、休校等でご利用いただかない分のディスカウント、返金はございません。ビフォーケア・アフターケアを提供できない日(学校カレンダーに記載)がございます。

※下記の提供時間・料金は通常時のものです。現在は COVID-19 の関係で時差登校を行っているため提供時間・料金とも異なります。

		月	火	水	木	金
ビフォーケア	Session 1	7:30-8:40	7:30-8:40	7:30-8:40	7:30-8:40	7:30-8:40
アフターケア	Session 1	2:45-5:00	3:30-5:00	3:30-5:00	3:30-5:00	3:30-5:00
	Session 2	5:00-6:30	5:00-6:30	5:00-6:30	5:00-6:30	5:00-6:30

ビフォーケア

回数/週	学期毎の費用
5	¥63,000
4	¥50,400
3	¥37,800
2	¥25,200
1	¥12,600

アフターケア

回数/週	学期毎の費用		
	Session 1	Session 2	両セッション参加の合計
5	¥135,000	¥162,000	¥297,000
4	¥108,000	¥129,600	¥237,600
3	¥81,000	¥97,200	¥178,200
2	¥54,000	¥64,800	¥118,800
1	¥27,000	¥32,400	¥59,400

6. 試験検定料

学年度内に公式試験を実施いたします。実施するテストは下記の表の通りです。海外の公式テストを利用する関係上、試験検定料は為替相場によって変動します。

テスト	対象学年
International Schools' Assessment (ISA)	G3 から G9
iPrimary Test	G5
iLowerSecondary Test	G8
IGCSE Test	G9 及び G10

7. 超過料金

お子さんを引き取る時間に 10 分以上遅れた場合、超過料金として 1,500 円をいただきます。17:00 までのアフターケアを申し込んでいて 10 分以上遅れた場合は 1,800 円です。ただしこれは K1 から K3 のお子さんを含む保護者の方のお迎えが必要とされているお子さんが対象です。また、スクールバスをご利用のお子さんも対象となります。この超過料金は後日請求させていただきます。

8. 生徒持ち込みノートパソコン

G9~G12 に在籍する生徒は Windows 対応のノートパソコンを購入し、自宅で充電の上、毎日持参することが必須となっています。学校で使用するノートパソコンには Windows OS がインストールされていなければなりません。当校では Windows 対応のパソコンのみを使用していますので、生徒が持参するすべてのコンピュータは入学時に提供される KIST 学生ノートパソコンガイドラインに従っていることが求められます。生徒には KIST での在籍中に使用できる

Microsoft Office 365 の無料ライセンスが提供されるため、入学前に Microsoft Office 製品を購入する必要はありません。

9. 言語個人学習コース(DP のみ)

G11~G12 の DP において言語の個人学習コースが必要とされる、または選択されるお子さんにつきましては、各自で個人指導、サポートにあたる家庭教師の費用をご負担いただきます。

8.05: 授業料に含まれているその他のサービス

以下のサービスが授業料に含まれます。これらは別途で請求されることはありません。

1. 教室内言語サポート(K1~G10)

教室内での言語サポートは、適切な英語能力を習得するために追加でのサポートを必要とする生徒に提供されます。

2. 課外活動(クラブ活動)

G1 以上の生徒には放課後様々なクラブ活動を、一年を 2 期に分けて提供しています。クラブ活動には追加費用はかかりません。セカンダリー生は対抗試合・リーグ戦を伴う運動部に参加することができます。この場合、リーグ参加費用(審判費用、コーチへの謝礼、トーナメント参加費、メンバーシップ費用等)を賄うための参加費をお支払いいただきます。この参加費は学期あたり 10,000 円前後です。

8.06: 支払い遅滞の事務手数料

全ての費用はそれぞれの請求書に記載してある期限にお支払ください。支払い期限を過ぎた支払いに関しては、2,000 円の事務手数料を請求させていただきます。お支払が遅れることが予想される場合 事前に 経理部 (accounts@kist.ed.jp) までメールにてご連絡いただければ事務手数料は発生しません。

8.07: 授業料の割引

1. 年間一括払いの割引

新年度の開始前に、一年分の授業料を一括してお支払いいただく場合は 1% の割引が受けられます。この割引制度は、年度途中の入学には適用されません。また、保護者の方がお支払いいただく場合のみ適用され、保護者の勤務先払いには適用されません。就学支援制度を受けているご家庭は、この割引を受けることはできません。また、支払期限を過ぎてのお支払の場合も適用されません。

	K1-Grade 12
年間授業料:	¥2,150,000
1%割引:	¥21,500
合計:	¥2,128,500

2. 再入学者特別金額

入学金および施設拡張費は当校への入学時のみのお支払いとなりますが、一度退校して再度入学した場合は、もう一度お支払いいただく必要があります。ただし、退校後 3 年以内 に再入学される場合には減額措置があります。3 年を超える場合は減額措置の対象にはなりません。

3. 学期途中の入学

学期途中の入学時期によっては、最初授業料について所定の計算方法により減額されます(月途中からの入学でも月初からのとして計算)。また 4 月から 6 月までの中途入学者の場合、施設維持費が減額になります。その他費用やその他学校で提供されているサービスは対象になりません。

8.08: 返金規定

受験料と入学金は返金できません。ただし、仮入学審査で合格した後、来日後の試験の結果で不合格になってしまった場合入学金は返金します。

入学時にお支払いいただく学費やその他諸経費(施設拡張費、施設維持費、CA 会費)は、日本時間における初登校日前日までにメールにて入学辞退の連絡があった場合のみ 全額払い戻し可能です。

諸経費の返金については入学後に各ご家庭にお知らせいたします。